

大規模地震発生時の 富士市の被害イメージ ～静岡県第4次地震被害想定から～

南海トラフ地震の発生により最大で次のような甚大な被害が想定されています。しかし、これは、何も防災対策をしなかった場合の最悪のケースを示すものであり、この想定を受けとめる上で最も重要なことは、**事前の備えにより被害を軽減することができる**ということです。

犠牲者	軽傷	重傷	死者
津波	40人	20人	90人
家屋の倒壊	2000人	450人	40人
屋内落下物	300人	50人	10人
合計	2340人	520人	140人

全壊家屋
6,180棟

エレベーター
閉じ込め
100人

→ 木造住宅の耐震対策
については P21

→ 家具の転倒等でケガをしない
方法については P22

電柱被害
電気 400本
電話 100本

火災件数
2,300棟

→ 地域の要配慮者対策
(災害支援キット)
については P24

要搬送患者数
500人

→ 大規模地震災害時の
医療救護については P23

避難生活者数	1日後	1週間後	1ヶ月後
避難所	14,144	26,666	6,773
避難所外	9,321	26,502	15,804

→ 避難時の非常持ち出し品、
非常用備蓄品については P29



→ 避難や避難場所
については P19・20



ライフライン機能支障率	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
上水道	100%	96%	59%	0%
下水道 (管路の状況が確認されるまで使えません)	6%	5%	3%	0%
電力	89%	78%	3%	2%
都市ガス	100%	100%	85%	17%
LPガス	21%	—	—	—
固定電話	89%	79%	4%	0%

※大規模地震災害発生後のライフラインの使用制限や復旧の状況はラジオエフ等でお知らせします。